

令和4年度事業評価結果(課・室)総括表

会計区分 一般会計
課・室名 道路建設課 (単位:千円)

事業名	区分	経費区分	福井県長期ビジョン における位置づけ	関連する県の計画等	事業区分		事業 開始 年度	経過 年数	令和 5年度 予算額	財源内訳				評価に基づく今後の対応										
					実行 予算	補助 金 その他				国庫	起債	その他 特定 財源	一般	拡 充	継 続	整 理 統 合	縮 減	休 止	廃 止	終 期 の 見 直 し	完 了	そ の 他	見直し額	
三方五湖有料道路リフレッシュ事業	終了	政策的経費	3 楽しみを広げる(創造力)	ふくい観光ビジョン	○		R3	2													○		66,312	
有料道路無料開放事業	終了	政策的経費	3 楽しみを広げる(創造力)			○	R4	1														○		103,206
法恩寺山有料道路出資金・越前海岸有料道路留保金返還	終了	政策的経費	3 楽しみを広げる(創造力)			○	R4	1														○		
国道417号整備事業	継続	政策的経費	3 楽しみを広げる(想像力)			○	H29	7	1,500,000	882,750	617,000	250							○					300,000
国道476号整備事業	継続	政策的経費	3 楽しみを広げる(想像力)			○	H30	6	314,000	184,789	129,000	211						○						238,000
原子力災害制圧道路等整備事業	継続	政策的経費	4 安心を高める(地域力)			○	H24	12	420,000			420,000						○						
						5	1		2,234,000	1,067,539	746,000	420,461						1	2		1	2		707,518

三方五湖有料道路リフレッシュ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	砂村 秀成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 令和6年3月の新幹線県内開業に向け、三方五湖有料道路について、現在、クラックの入った路面や傷んだガードレール等を再整備する必要がある。また、令和4年10月から県道となることから、必要な設備整備を行う必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 県道管理に必要な設備数 道路監視カメラ：設置数0/必要数2 積雪計：設置数0/必要数1 道路情報表示板：設置数0/必要数2						
[事業目的] 道路公社が管理する三方五湖有料道路を観光道路としてふさわしい路面状況や道路付属施設の更新を行い、来場者が通行しやすく、眺望を楽しめるよう再整備を行う。また、令和4年10月以降の県道管理に必要な設備整備を実施する。												
[事業内容] (1) 観光地につながる道路としての整備 ○道路舗装、区画線引き直し、ガードレール補修 ○伐木整備 (2) 県道管理のための整備 ○道路舗装、区画線引き直し ○道路管理設備(道路監視カメラ、積雪計、道路情報表示板等) ○側溝補修 ○道路台帳補正												
[受益者] 梅丈岳山頂公園への来場者						[想定される受益者数] 88,000台(三方五湖有料道路通行台数R3実績)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 三方五湖エリア活性化支援事業 (役割分担) ・道路、道路付属施設等の原状回復に関するもの、県道管理に必要な設備整備は本事業 ・観光対策としてグレードアップを図るものは交流文化部事業					
市町との連携状況	(三方五湖有料道路) 観光施設の運営は、美浜町・若狭町の共同出資により設立された株式会社が実施					他県の状況						

三方五湖有料道路リフレッシュ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課		課長名	砂村 秀成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	直営									R3 年度			経過年数
補助率	-									2 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				44,416	66,312								
2月現計予算額の推移				44,416	66,312								
決算額の推移				43,362									
前年度までの主な増減理由	令和4年10月からの無料開放、県道移管に向け、道路舗装補修や区画線の引き直しを全面的に行ったため増												
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	区画線引き直し延長率 (目標)			(5)	(100)		(5)	(100)	令和4年度整備完了				
	実績			5	100								
活動指標	事業進捗率 (目標)			(25)	(100)		(25)	(100)	事業費割				
	実績			25	100								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
成果指標の目標を達成 ・視点場整備 3箇所設置 ・道路舗装補修 3,634m/3,634m実施 ・側溝補修 7箇所/7箇所実施 ・道路台帳整備 1式/1式実施				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	66,312		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

有料道路無料開放事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	砂村 秀成	
事業主体	福井県道路公社				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助金							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	10/10							<input type="checkbox"/> その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 道路公社解散に伴う有料道路の無料開放に向け、不用となる建物の撤去や会計整理のために必要な資金が不足する。						[問題・課題を表す客観的データ] 県から公社への長期貸付金2,215,650千円が償還不能 県・勝山市の出資金756,000千円のうち478,526千円が返還不能						
[事業目的] 昭和49年に設立された福井県道路公社は、法恩寺山有料道路の料金徴収期間終了に伴い、令和4年9月末に解散。公社の解散後、令和4年10月から清算団体となり、有料道事業で使用していた料金所等の建物撤去、物品の処分など清算に向けた作業を行うこととなるが、公社解散までに必要な資金を準備することができない。 このため、県から道路公社に対して不足する資金を補助金として交付することで、有料道路の無料開放に必要な清算作業を確実かつ円滑に進め、さらなる観光地の活性化を図る。												
[事業内容] (1) 三方五湖有料道路の不用物件撤去費の資金支援 ○料金所、給排水施設、案内看板等の撤去 (2) 三方五湖有料道路の運営資金の補助 ○令和4年度で赤字が見込まれる運営資金												
[受益者] 三方五湖有料道路、法恩寺山有料道路利用者						[想定される受益者数] 271,000台 (三方五湖有料道路、法恩寺山有料道路R3通行台数実績)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・法恩寺山有料道路の出資金の返還(勝山市) ・三方五湖有料道路の県道化後の道路や駐車場等の管理方法の検討(美浜町・若狭町)				他県の状況							

有料道路無料開放事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	砂村 秀成	
事業主体	福井県道路公社				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					103,206							
2月現計予算額の推移					66,121							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								道路公社の清算にかかる補助金であるため、数値目標は馴染まない。			
活動指標	(目標) 実績								道路公社の清算にかかる補助金であるため、数値目標は馴染まない。			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
三方五湖有料道路の料金所、給排水施設、案内看板等の撤去や公社の運営にかかる資金を支援し、有料道路事業の清算作業を実施した				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	103,206	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

法恩寺山有料道路出資金・越前海岸有料道路留保金返還

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課		課長名	砂村 秀成
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを上げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 道路公社解散に伴う出資金の返還						[問題・課題を表す客観的データ] ・法恩寺山有料道路について、県・勝山市の出資金756,000千円のうち135,406千円が県に返還 ・越前海岸有料道路について、留保金119,500千円が県に返還						
[事業目的] 令和4年9月末の道路公社解散に伴い、法恩寺山有料道路の出資金および越前海岸有料道路の留保金の返還を受ける。												
[事業内容] (1) 法恩寺山有料道路の出資金の返還 ○県の出資額648,000千円のうち135,406千円が道路公社から県に返還される。 (2) 越前海岸有料道路の留保金の返還 ○H3.4.1に無料開放した越前海岸有料道路の留保金119,500千円が県に返還される。												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	法恩寺山有料道路の出資金の返還 (勝山市)					他県の状況						

法恩寺山有料道路出資金・越前海岸有料道路留保金返還

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	砂村 秀成		
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移													
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標) 実績								数値目標は馴染まない。				
活動指標	(目標) 実績								数値目標は馴染まない。				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
県の出資金648,000千円に対し、債権放棄額393,094千円を除いた254,906千円について受入れ				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

国道417号整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課		課長名	砂村 秀成
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			経過年数						7 年		
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力) 政策 [9 100年に一度のまちづくり]]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] (国) 417号は、第一次緊急輸送道路にも指定された重要な路線であるが、当区間は豪雪地帯であるにも関わらず急勾配・線形不良区間が連続し、円滑な交通に支障をきたしている。						[問題・課題を表す客観的データ] 現道区間6.1kmの内、1.8kmで道路勾配が7%以上 曲線半径50m以下の急カーブ箇所が17箇所 斜面防災対策必要箇所が8箇所						
[事業目的] 当該区間のバイパスを整備することで安全で円滑な交通を確保する。												
[事業内容] 急勾配・線形不良区間の道路改良 「全体計画」 ・延長：L=3,450m ・幅員：W=5.5(8.5)m ・事業費：96億円 ・事業期間：H29～R6年度												
[受益者] 国道417号利用者						[想定される受益者数] 1,500台/1日						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

国道417号整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	砂村 秀成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H29 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,500,000	882,750	617,000	(繰入) 250		社会資本整備交付金 882,750千円 足羽川水源地域対策基金 250千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,100,000	1,300,000	900,000	1,800,000	1,500,000	(仮称) 新板垣トンネル 令和4年10月26日覆工完了					
2月現計予算額の推移		1,000,000	2,050,000	1,000,000	2,576,000							
決算額の推移		367,600	520,000	466,687								
前年度までの 主な増減理由	令和元年度～4年度 (仮称) 新板垣トンネル(本体) 工事を実施											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	供用延長	(目標)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3,450)	(3,450)	R6年度の全線供用			
		実績	0	0	0	0						
活動指標	事業進捗率	(目標)	(15)	(30)	(51)	(72)	(94)	(100)	(当該年度までの事業費) / (全体事業費)			
		実績	20	41	51							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
(仮称) 新板垣トンネル 令和4年10月26日覆工完了				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	300,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

国道476号整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課		課長名	砂村 秀成
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力) 政策 [9 100年に一度のまちづくり]]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 一般国道476号は、第一次緊急輸送路にも指定された重要な路線であるが、当区間は屈曲した狭隘区間であり、円滑な交通に支障をきたしており、近隣には迂回路となる道路がなく、事故や災害が発生すると南北交通が断絶する。						[問題・課題を表す客観的データ] 過去に災害により現道区間の通行止めが発生（H16福井豪雨、H23土砂崩れ）						
[事業目的] 当該区間のバイパスを整備することで安全で円滑な交通を確保する。												
[事業内容] 屈曲した狭隘区間の道路改良 「全体計画」 ・延長：L=928m ・幅員：W=6.0(9.0)m ・事業費：36億円 ・事業期間：H30～R7年度												
[受益者] 国道476号利用者						[想定される受益者数] 1,100台/1日						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

国道476号整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	砂村 秀成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	314,000	184,789	129,000	(繰入) 211		社会資本整備交付金 184,789千円 足羽川水源地域対策基金 211千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		700,000	700,000	700,000	552,000	314,000	(仮称) 白粟トンネル 令和4年7月15日掘削完了					
2月現計予算額の推移		700,000	850,000	768,000	552,000							
決算額の推移		251,000	160,000	6,000								
前年度までの 主な増減理由	令和元年度～4年度 (仮称) 白粟トンネル(本体) 工事を実施											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	供用延長	(目標) (0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(928)	R7年度の全線供用			
		実績 0	0	0								
活動指標	事業進捗率	(目標) (7)	(11)	(14)	(25)	(57)	(90)	(100)	(当該年度までの事業費) / (全体事業費)			
		実績 25	48	68								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
(仮称) 白粟トンネル 令和4年7月15日掘削完了				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	238,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

原子力災害制圧道路等整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課		課長名	砂村 秀成
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力) 政策 [16 防災・治安先進県ふくいの実現]]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 幹線道路(国道27号)から原子力発電施設までのアクセス路が1本のみであり、近年の大雨等による土砂崩れ等により、通行止めなどの交通障害が発生し、交通の確保および通行の安全確保が課題となっていた。						[問題・課題を表す客観的データ] 現在事業中である舞鶴野原港高浜線において、現況の最小幅員6.7m、最小曲線半径15m、縦断勾配最大8.5%であり、安全で円滑な通行に支障をきたしている。また平成30年の土砂崩れにより、通行止めを含む約12ヶ月間の交通規制を行っている。						
[事業目的] 福島第一原発での事故を踏まえ、原発事故発生時の迅速な初動・事故制圧等を行うため、幹線道路から原発までの道路の多重化や現道の防災機能の強化を図り、県民の安全・安心を確保する。												
[事業内容] (一) 竹波立石縄間線(敦賀市白木~浦底): 交通不能解消 4.9km(新設) (主) 佐田竹波敦賀線(美浜町佐田~竹波): バイパス 5.1km (一) 赤礁崎公園線(おおい町犬見~大島): バイパス 3.4km (一) 音海中津海線(高浜町音海~小黑飯): バイパス 1.6km (一) 竹波立石縄間線(敦賀市立石~敦賀原発): バイパス 0.6km (主) 舞鶴野原港高浜線(高浜町神野~難波江): 線形改良 2.5km												
[受益者] 福井県民、電力事業者 他						[想定される受益者数] 123,668人(原子力発電所5km圏内の人口:H28.10.1) 以上						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	なし					他県の状況		以下の県にて同様の事業を実施 ・佐賀県 県道 肥前呼子線 L=5.5km ・愛媛県 県道 鳥井喜木津線 L=0.7km				

原子力災害制圧道路等整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	砂村 秀成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	420,000			(負担金) 420,000		電力事業者負担金 420,000千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		6,935,000	327,000	310,000	355,000	420,000	整備計画による増					
2月現計予算額の推移		6,935,000	327,000	310,000	355,000							
決算額の推移		5,872,000	147,000	180,000								
前年度までの 主な増減理由	整備計画による増											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	供用箇所数 (部分供用を含む)	(目標) 5 (実績) 6	(6) 6	(6) 6	(6)	(6)	(6)	(6)	各事業路線における供用開始時期を目標として設定			
活動指標		(目標) 実績										
成果に至る取組として、主要構造物であるトンネル工事の着手数を設定 (平成28年度までにすべてのトンネル工事に着手済)												
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
成果指標の目標を達成 舞鶴野原港高浜線の用地契約が全て完了				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		